

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

米國に於ける鐵屑の需給狀況

(昭和一〇年六月一日附在ヒューストン河井貿易通信員報告)

一、鐵屑に關する一般狀況 北米合衆國に於て一ヶ年に生ずる鐵屑の數量は約一、八〇〇萬匁と云ふ而して昭和九年度に於て米國內の製鐵及鑄物會社にて消費したる鐵屑の數量は約一、七〇〇萬匁に達し同年外國に輸出せられたる鐵屑は一六〇萬匁と算せらる、其の主なる產地と消費地とを挙げればイリノイス、ミシガン、ニューヨーク、ペンシルバニア、オハヨー、インディアナ、ミゾリー、ウキスコンシン、ミネソダ諸州なり、要するに米國の北部シカゴ市を中心とし圓周三〇〇哩が米國に於ける製鐵工業の最發達したる土地柄として該地方のみにても米國鐵屑產出量の約七割を占めかつ全米國鐵屑總消費高の七五%を消費すると云ふ。

又その輸出狀況を見るに昭和九年度の調査に依れば大西洋海岸のブ

日本製鐵株式會社

ロビデンス、ボストン、ニューヨーク、バルチモア、ノーオーク、サ
 パナ、ジャクソンビル、チャールストンの各港よりの輸出高は總輸出
 高の五七%を占め、キメシコ灣のタンパー、ペンサコウ、モーブイル、
 ニューオールレアンス、ヒューストン、カルバズトンの各港より二七%
 太平洋岸シアトル、タコマ、ポートランド、サンフランシスコ、ロ
 サンゼルス、サンディゴの各港より一三%の割を以て輸出さる。

輸出先の主なるは日本にして昭和九年度に於ては總輸出高の六九%
 を占め之に次ぐは伊太利、英國及ポーランドの各國とす。

三、各國への輸出状況 歐洲方面への輸出は一九一三年頃より既に
 開始せられ同年伊太利へ三二萬噸、英國へ一二九〇〇〇噸の輸出を見
 たり、同年日本へも始めて二、七三〇噸の輸入ありしもその後日本への
 輸出は一九二六年まで殆ど中斷の有様となり居りしも二七年度より再
 び輸出を始め以來毎年著しき増加を示し來り昭和九年度に於ては一
 〇萬噸の巨額に達せり。

日本製鐵株式會社

伊太利への輸出は一九二七年度より漸次數量の増加を示し一九二九年度に於ては九九萬四〇〇〇噸に達したるも近來著しく減少す。
又英國も毎年多少の増加はあれど伊太利の如く多量にあらず、又ポ
ーランドの如きは一九二七年より輸入を開始したるもその量各國に比
し僅少なり、今次にハケ年間の主なる輸入國名を記すれば（單位噸）

年 度	日 本	伊 太 利	英 國	ポ ー ラ ン ド
1927年度	71,087	693,333	70,770	14,858
1928年度	160,427	861,988	55,400	63,274
1929年度	208,260	994,390	68,700	75,021
1930年度	168,106	855,378	215,308	5,066
1931年度	48,036	612,995	96,191	2,550
1932年度	164,001	474,186	116,829	4,350
1933年度	547,539	630,036	104,000	29,901
1934年度	1,100,000	370,000	371,000	120,000

三米國製鐵會社と輸出の利害關係 米國の各製鐵會社にて消費する鐵屑は毎年約一七〇〇萬噸に達す、さればこれが海外に輸出せらるゝ場合は各地にある製鐵會社には相當の影響を受くるは當然の事にして殊にその甚だしきは沿海の製鐵會社にして内地にゆくに従ひて漸次その影響も薄くシカゴ市にある製鐵會社の如きは何等の痛痒を感じざる状態なり。

其の著しき影響を受くるは大西洋岸の都市に在る製鐵場にしてピラデルヒヤ、バルチモア等之なり、その中にも甚だしき會社は

Bethlehem Steel Co., Lukens Steel Co., Allan Wood Steel Co.,

Central Iron & Steel Co., 等とす。但し米國製鐵工業の中心と云はるゝピッツバーグ市は沿岸を去る三五〇哩の地點に在りとはいへ相當の影響ありとの事なり。

又南部に於ける製鐵工業の状態を見るに其の最も盛んな事はアラバマ州バアミングハム市にして同市の Tennessee Coal Iron & Rail.

日本製鐵株式会社

Road Co., State Steel Co.,等は太平洋岸サバナ、ジャクソンビル
チャールleston及メキシコ灣に面するベンサコラ、モビール及ニユ
ーオルレアンス各港よりの輸出の影響を受け太平洋岸に於てはサンフ
ランシスコ及シアトル市に在る Pacific Coast Columbia Steel Co.
等タコマ、シアトル、ポートランド、サンフランシスコ各港よりの輸
出に相當影響を受けるものとす。

四日本への輸出状況 昭和九年度に米國より輸出せられたる鐵屑の
數量は一一〇萬噸とす其の内六割は太西洋岸より二割五分はメキシコ
灣より又一割五分は太平洋岸より積出さる。

日本に輸出せらるゝ鐵屑の買入れは沿岸を去る二五〇哩内の地點
に於て行はる。その理由は比較的安價なる鐵屑も重量にして取扱ひ等
困難なるため輸送賃が高價となるためにして前記の區域以外より買入
るゝ場合には特別に價格の安價なる場合の外はこれをなさずといふこ
となり。

本邦へ輸出さるゝ場合に米國內地の製鐵會社と對抗し買入れの競争の最甚だしきは紐育、バルチモア、ヒュトン港にして此三港が日本行き鐵屑買入れの重要地とせらる。

前記の三港は日本行き鐵屑につきては優秀なる位置を占めかつ他社との競争に勝つ場合多し、例へばピッツバーグ市の製鐵會社が紐育及ヒラデルヒヤ市場に於て鐵屑を買入れたりとすれば何れよりもピッツバーグ市までの輸送賃に僅か三五〇哩の距離を五弗三〇仙を支持ふに對し同地より日本への運賃は船便により九〇〇哩か僅か四弗五に運び得るが如し。

南部に於てもメキシコ灣に近きダラス・フォートオース市等の鐵屑中心地よりヒューストン港への運賃三弗五に於てこれに日本迄の船賃三弗五〇仙を加算して六弗五〇仙なるも米國に於ける製鐵業中心のセントルイス市に送つて運賃六弗八〇仙更にピッツバーグ市に送れば八弗といふ運賃となるがため日本送りの鐵屑買付の場合には他の米國製

鐵會社よりも高價に買ふも運賃に於て之をおぎなふが故に充分に競争に耐へ得るといふ事なり。

五、鐵屑輸出の將來に就きて 米國に於て昭和九年の末より同一〇年の始めまでに日本への鐵屑輸出が禁止さるべしとの説あり新聞紙等も相當に宣傳したり。

その理由は日本は米國より輸入したる鐵屑を利用してその輸入量の四割五分内外は武器を製造するが故にして加洲選出の某代議士の如きは去る一月一五日鐵屑輸出禁止法案を議會に提出せんとしたるも米國の鐵屑輸出業者の大反對を受け遂に立ち消えとなりたり、これは前記の各地の製鐵會社が從來勝手なる値段を以つて安價に買入れたる鐵屑が海外に輸出せらるゝ様になりては從來より高價となりその買入れに當りて支拂はざるべからざる状態となりたるに依り政治家の手をかつて事を叫ばしめ問題を起したる次第なり。

ヒューストン港に於ける鐵屑の取引状態を見るに現在の市價は一二

級の混合品が通當り五弗八〇仙といふ高價を示し居るために深刻なる不景氣になやむ米國に鐵屑界のみひとり活氣ある状態にあり、而して當港のみにても失業者に鐵屑場に職を得しもの三〇〇〇人に達し居れば全米國の各都市に該業のため職を得たるもの何萬あるかを伺ふ事を得べし。

かゝる状態なれば或一部の人の策動に依り「鐵屑輸出禁止案」云々の宣傳をなすは米國の現況を知らざるものと云ふを得べし、要するに從來より米國にては毎年約一〇〇萬匁餘の鐵屑の過剩あればその輸出に當り昨年の如く二〇〇萬匁に及ぶ場合は勢ひ米國製鐵會社と競争となり問題惹起したるものと見らるゝ、されば日本に於ける鐵屑輸入者も此間の消息を明かにしその取引量が米國鐵屑消費會社に脅威を與へざる程度に於て行はるる時は將來安全にして且つ有利なる取引を行ふ事を得べし。

六 本邦鐵屑輸入者の注意 米國に於ける日本への鐵屑輸出業者と米

國製鐵會社との間にはその買入れに當り相當競争ありとはいへ之等は特殊の物に限り普通一般に稱するスクラップは運賃の關係上米國の製鐵會社にては到底採算引合はざるが故に各沿岸地方には手の及ばざる状態にあるを以て日本人の買入れの代理をなす商人が屢々米國製鐵會社との競争甚だしと云ふもこれも一種の商策にして必ずしもその言のすべてが眞實なりとも信じ難き場合あり。

又米國の製鐵會社が毎年消費する量は約一七〇〇萬噸にして鐵屑の產出高は一八〇〇萬噸と言はれ居れば毎年一〇〇萬噸近き輸出は各製鐵會社にさしたる供給難を見せざるのみならず却つて米國は毎年鐵屑產出の過剰にある傾向なれば機微なる點をよく研究し以て米商人に乘ぜられざる様の注意を最も肝要とす。

かつて伊太利が毎年九〇萬噸の鐵屑輸入をなしたる當時何等米國に於て問題とならざりしに不係昨年日本が一〇〇萬噸を輸入したりとて之に狼狽し急に「鐵屑輸出禁止」云々の策動を起したるが如きは、そ

の僻見の甚だしきものと云はざるべからず、以上述べたる如き宣傳に乗ぜらるゝ事なくかゝる重要な工業原料の輸入には充分の考慮を拂ひ最低價格を以て取引を行はん事を希望する次第なり。

又本邦に於ける鐵屑買入をなす當事者はその買入れに當り、或一二の會社を除きたる他社は輸出の際重量及品質の検査を行はざるため二級品を一級品として取引するも之を知らず、沉んや重量の如きは決して正確といへざる場合あり往年伊太利への輸出をなしたる商人の如きかの國の検査の嚴重なりしに比し日本の商人は大名の如く寛大なりと言ひ居れり、昨年當ヒューストン港より四〇萬匁の鐵屑の輸出を見たるも輸入商として直接之を監督し検査したるものなき爲不利なる取引が行はれ居ると傳へらるゝもしばしばなり、將來はかゝる點に充分の考慮を拂はれん事を希望する次第なり。

